

まちの話題

新しい旅立ち

○中学校で卒業式

3月13日、市内の各中学校で卒業式が行われました。9年間の義務教育を終えた子どもたちの表情は、自信に満ちあふれており、夢への大きな一歩を踏み出しました。



▲神埼中学校（神埼町）

○小学校で卒業式

3月19日、市内の各小学校で卒業式が行われました。子どもたちの表情は、新たに始まる中学校生活への希望に満ちあふれ、6年間学んだ母校を巣立っていきました。



▲千代田東部小学校（千代田町）

◆小・中学校の入学式

・神埼、千代田町内の各小学校
 ……4月8日（水）
 ・脊振小学校、各中学校
 ……4月9日（木）
 4月6日から15日までの10日間、「春の交通安全県民運動」が実施されます。子どもたちが危険に巻き込まれないよう、地域みんなで子どもたちの安全・安心を守りましょう。市民の皆さんのご協力をお願いします。

県内一周駅伝大会

2月13日から15日まで、第49回郡市対抗県内一周駅伝大会（佐賀新聞社・佐賀陸上競技協会主催）が行われました。

大会は、基山町役場から佐賀新聞社までの全34区間298・2kmを3日間かけて行われ、一番が吹き荒れる中、沿道からたくさんの方々の声援を受け、選手たちはタスキをつなごうと力強くアスファルトを踏みしめ力走されていきました。

神埼・吉野ヶ里チームの成績は、総合6位で、敢闘賞を受賞しました。また、神埼・吉野ヶ里チーム



のエース平敏治さん（神埼町）が、2度の区間賞を記録し、4年連続となる優秀選手賞を獲得されました。

地元の食材を生かして

2月24日、食生活改善推進協議会脊振支部（山口好子支部長）の料理教室が、脊振公民館で行われました。

今回は、会員20人が参加し、地元食材を使った「野菜と大麦のかき揚げ」「しし肉まん」などを作りました。

「しし肉まん」は、脊振中学校の生徒（本村浩晃さん、尾家大地さん、野田潤さん）が考案



したもので、昨年11月に、福岡市で開かれた料理コンテストで優勝されており、脊振の新名物として何度となく改良され、商品化へ向けて本格的に動き出しています。

コミュニティ助成事業

岩政倉今地区で事業完了

平成20年度のコミュニティ助成事業で採択を受けている4団体のうち、岩政倉今地区の屋外放送施設整備事業が完了しました。



この事業は、（財）自治総合センターが宝くじの普及広報事業費として受け入れられる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動の助成を行うことにより、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行うことを目的に実施されています。



宝くじは、たくましく豊かになり、まちを築く力を持っています。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

車いすを贈る

2月18日、脊振中学校（全生徒66人）を代表し、生徒会のJRC（青少年赤十字）の委員らが、特別養護老人ホーム昌普久苑（脊振町）を訪れ、車いすを一台贈りました。

同中の生徒は、入学と同時にJRCに入団し、様々なボランティア活動を行っています。

その一つとして行っているのがベルマーク収集活動で、今回贈られた車いすは、1年3ヶ月かけて集めた2万6千点で購入したものです。

入居者の皆さんは、孫の世代からの真心のこもったプレゼントに喜ばれていました。



新型インフルエンザ講習会

2月19日、脊振町婦人会（廣瀧千鶴子会長）が、佐賀消防署の宮田篤郎さん（脊振町）を講師に招き、新型インフルエンザに関する講習会を脊振公民館で行いました。

講習会には、27人の脊振町婦人会メンバーが参加し、新型インフルエンザの正しい知識を持ち、冷静な予防行動などについて学びました。

宮田さんは、スペイン風邪などの過去の事例や、国や自治体の取り組み、各家庭でもできる予防法・備蓄法などを紹介し、「新型インフルエンザには、季節



節は関係ありません。疑わしい症状が出たら、病院には行かず、保健所（保健福祉事務所）へ連絡してください。」と呼び掛けられていました。

母校へ図書寄贈

3月5日、仁比山小学校の昭和55年度卒業生を代表して、梅野勉さんと佐藤浩二さん（神埼町）が母校を訪れ、図書を贈りました。

豊かな感性を育んでもらおうと、環境問題や生活の知恵などをテーマにした本が多く、梅野さんらは、「エゴに関するものなど勉強になる本もたくさんあるので、教材としても使ってください」と話されていました。



至福の時を創る作品展

2月21日・22日、城原公民館（神埼町）で第6回城原地区の作品展が行われました。

今年は、保育園児から高齢者までの書、絵画、編み物、写真など、150点の力作が並びました。条幅、水墨画、絵画など例年のない作品もあり、豪華な作品展となりました。

東京、埼玉、山口、福岡からの里帰り作品も寄せられました。趣味の作品展は、年に一度の地区住民の至福の時となっています。



寄付

2月25日、神埼町観光協会（島富士男会長）より、九年庵の一般公開に係る収益金の一部を市の振興に役立てて欲しいと寄付がありました。



3月24日、(有)ジョイックスシステム（吉原崇己代表取締役）より、かんざきの未来を担う人材の育成のために役立てて欲しいと、ふるさと納税がありました。



ありがとうございました。